

音楽

第6学年

育成を目指す資質・能力

【コミュニケーション力】

いろいろな音のひびきを味わおう「リズムをつくってアンサンブル」

【題材の概要】

放送委員会の5年生からの依頼をきっかけに、どのような演奏にすれば聴き手の心をつかむことができるかを考えます。また、録音した自分たちの演奏を聴いたり、原曲と比較したりする活動を通して、表現の工夫をしながら音を重ねる楽しさや音楽の構成についても学びながら合奏をつくり上げていきます。

◆題材の目標

楽器の音色・リズム・音楽の仕組みについて理解して、パートの役割や楽器の特徴を生かして、音の強弱や重なりを工夫しながら音楽を作ったり演奏したりすることができる力を身に付ける。

◆題材の計画（全7時間）

【課題の設定（1時間）】

・「ラバーズコンチェルト」の合奏の学習に当たり、放送委員会からの依頼「聴き手の心にぐっとくる、給食時間にぴったりな演奏を6年生にお願いしたい」を聞き、どのような演奏にすればよいのかを考え始める。

【情報の収集、整理・分析（1時間）】

・「ラバーズコンチェルト」の範奏CDを聴いて楽曲の特徴を捉え、旋律の特徴から各パートの役割について知る。
・範奏CDを聴いて曲調をつかみ、各パートにふさわしい楽器を選ぶ。
・各パートの役割について考え、全体のバランスを工夫して演奏する。

【実行、課題の設定（1時間）】

・グループ毎に発表して響きの違いを聴き合うと共に、5年生の要望に沿ったものになるようアドバイスをし合う。
・録音した演奏も聴き、自分たちの演奏に足りない視点を明確にもち、より聴き手の心にせまる演奏にするためにはどうすればよいかという新たな課題を設定する。

【情報の収集（2時間）】

・「ラバーズコンチェルト」の原曲である「メヌエット」を聴き、「ラバーズコンチェルト」との曲想等の違いを感じ取ることで、自分たちの演奏に取り入れることができる視点を探し、リズム伴奏の重要性に気付く。
・楽器の音色やその組み合わせによる響きを生かしながら、短いまとまりのあるリズム伴奏をつくり、リズム伴奏を演奏する。

【整理・分析（1時間）】

・つくったリズム伴奏を加えて、「ラバーズコンチェルト」を合奏し、修正を加える。

【実行、振り返り（1時間）】

・できた合奏を録音し、それを聴いて合奏のよさや面白さについて感じたことを振り返る。

その他の主な開発単元

教科等	学年	単元・題材名
国語	1	合体動物図鑑を作ろう「どうぶつの赤ちゃん」
	1	場面の様子が伝わる劇にしよう「たぬきの糸車」
	2	自分たちに合った遊び方を考えよう「おにごっこ」
	3	「府中グルメ」の魅力が伝わる文章の書き方を探ろう「すがたをかえる大豆」
	4	研究者になって友達に科学読み物を紹介しよう「ウナギのなぞを追って」
	4	場面の様子に着目して読み、作品を紹介しよう「一つの花」
	5	すぐれた表現に着目して、物語のみりょくを伝え合おう「大造じいさんとがん」
	5	様々な視点から作品をとらえよう「わらぐつの中の神様」
	6	宮沢賢治の世界観に対する自分の考えを表現しよう「やまなし」
音楽	2	はくまとまりをかんじとろう「トルコ行進曲」
	6	日本と世界の音楽に親しもう「雅楽『越天楽』」
総合的な学習の時間	3	こくふのじまん
	4	だれもが住みよい町にしたい
	5	府中家具を広めよう